

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	多機能型事業所ふれも(児童発達支援)	公表日	令和7年3月14日
------	--------------------	-----	-----------

利用児童数 60

回収数 55

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	54	1	0	0		児童の特性にあわせて部屋の広さやレイアウトを工夫しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	53	1	0	1	グループの時の職員の数が充実している。 言語聴覚士さんにも見てもらいたい。	利用者のニーズに合わせて多職種で連携をおこなっています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	46	9	0	0	バリアフリーではないと思うが、必要に応じて援助は求められる環境かと思う。	補助錠の取り付けやトランポリン周辺の壁に衝突防止のマットを張り付けるなどの対応をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	52	2	0	1		療育後はおもちゃや教材の消毒の徹底、破損物の確認、清掃をおこなっています。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	49	5	0	1		ケース会議や個別支援計画策定会議を通して、多職種で子どもの特性を多角的な視点で話し合い、目標や療育内容を決定しています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	40	0	0	15		事業所の理念に沿い、子どもの実態に合わせて内容を作っています。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	49	5	0	1		児童発達支援計画は、計画、実行、評価・見直しの過程を回すことで、子どもの実態に応じた計画となるように作成しています。評価・見直しの際には、モニタリングを行うことで関連機関の助言や保護者の要望を反映しています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	53	0	0	2		子どもや保護者の希望や課題を踏まえて、適切なサービスが総合的に提供できるように作成しています。児童支援利用計画は半年ごとに見直し、子どもや家族の希望する生活の実現に向けて、障害福祉サービスが有効に活用できるように作成しています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	52	3	0	0		個別支援計画を5領域から作成し、具体的な支援内容を明記しています。支援者は、支援計画に沿って支援にあたり、随時、保護者に支援状況を報告しています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	47	6	0	2		日々の記録やケース会議を通して、プログラムや療育内容の検討をおこなっています。
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	30	9	5	11	幼稚園ともう一つの療育先である。 広報(事務所の発行されたもの)や掲示物等で交流があることを知らせてくれている。そこで補えていると思う。	子ども達は、保育所や幼稚園で普段交流しています。更に、コロナ感染症が5類に移行となり、子どもたちの交流が活発になってきました。また、こども会、お祭り等を通して、地域の中で触れ合う場も多様化していると感じます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	52	3	0	0		利用開始の契約の締結に際し、児童発達支援管理責任者から、利用手続きや利用者負担額等について説明しています。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	52	3	0	0		半年毎に児童発達支援計画を見直し、草案を保護者様に説明し話し合いを行っています。話し合いの結果を反映した最終版に保護者様の了承のサインをいただいています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	45	4	1	5		子育てサポートや家族支援が必要と思われるケースは、個別支援計画に明記し、計画的に家族支援が行われるようにしています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	53	2	0	0	赤子を連れていくので、時間をかけて相談することが難しい。	療育の時間以外にも面談の希望があった場合には、迅速に面談の時間をもち相談できるように環境を整えています。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	51	2	0	2	心配事に対してすぐに面談で対応していただけて助かりました。	保護者面談は、必要に応じて随時実施しています。こどもの様子や課題に関して保護者面談をすることもあります。
	17	事業所の職員から共感的に支援がされていると思いますか。	54	1	0	0		支援者は療育に当たる際に、保護者やこどもの気持ち(困り感)に寄り添うような心がけています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	53	2	0	0	強制ではないのでありがたい。	年に2回保護者会を開催しふれも・白井の運営方針や、連絡事項について情報を発信しています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	51	2	0	2		電話やLINEでの要望・意見があった場合緊急性があれば、即時に対応します。・保護者から相談があった際は、内容に応じて管理者やセラピスト(専門職)が相談のついでに
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	53	2	0	0		支援の際には、保護者の同席をお願いし、支援後には保護者から感想等を聞き取り、必要であれば支援に繋いでいます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	49	2	0	4		ふれもだよりを毎月保護者あてに発行しています。活動の概要や行事予定、支援の啓発を載せています。全体への連絡は書類の他にLINEを使用し、迅速に情報を配信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	54	0	0	1		利用者の名前や個人情報を保護するために事業所内で個人情報保護・漏洩防止についての研修を随時行っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	38	6	0	11	説明されたと思うが、はっきりと覚えていない。	業務継続計画(自然災害・感染症)・各種緊急時対応マニュアルを玄関に置き、いつでも閲覧できます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	35	7	0	13	靴を部屋に持っていくのが素晴らしい対応だと思う。有事の際、玄関が混雑しなくて良い。	職員は月に一度避難訓練を行っています。利用者には年に一度、施設内避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	35	7	0	13		定期的に行われている衛生管理、安全点検、及び防災訓練を通してこどもの安全の確保には十分に配慮しています。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	38	6	0	11		事故時の対応としては①ひどい怪我の時には県に一報する。②頭をぶつけたら、病院受診のお勧めを保護者に行う。③夜にその後の様子を電話で聞く。④報告書に記入する。①～④の手順が定められており、そのように行動しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	53	2	0	0		今後も子ども達が指導員や療育に対して信頼感と安心感を持てるプログラムを進めていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	53	2	0	0		こども達が「もっと来たい」「楽しい」と思えるように環境の設定や幅広いプログラムなど支援内容を充実させていきます。こどもの「できた」を保護者と一緒に喜び、専門的な支援で家族を支えます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	49	5	0	1	とても満足している。通所してから子どもと一緒にいるのが楽しくなった。週に1度の利用をしているが、病欠などで行けないこともあり、頻度が適切か迷う。	利用者のニーズをその都度確認し、一人一人に合った療育の頻度や専門的な支援を提供できるように職員一同スキル向上に努めます。相談しやすい環境づくりを行い、利用者や保護者に安心して通えるような施設作りを行います。